

5 保健・医療や福祉

(1) 保健と医療について

(2) 「成年後見制度」の認知度

(2 - 1) 「成年後見制度」に関する取組みの認知度

5 保健・医療や福祉

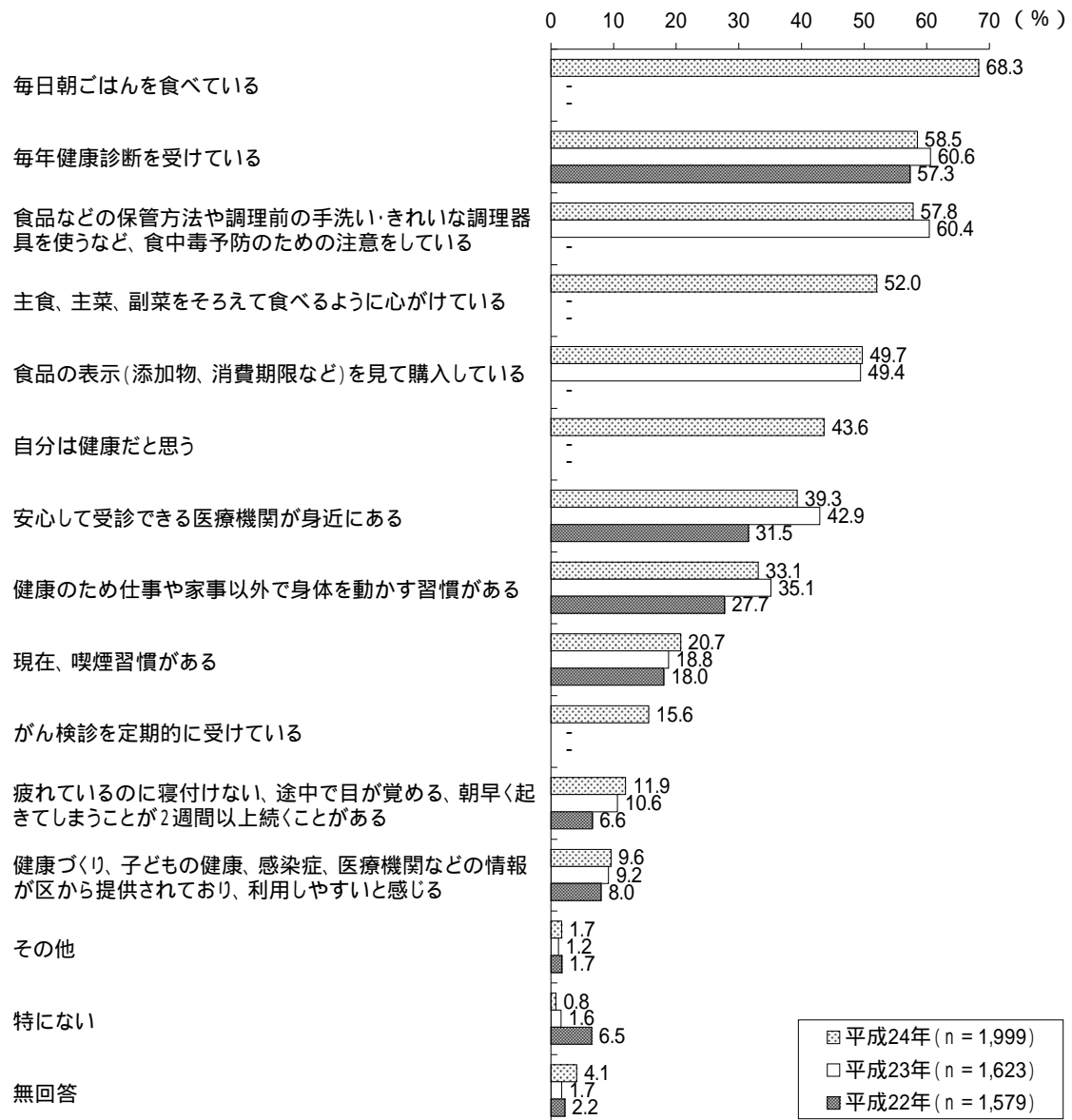
(1) 保健と医療について

「毎日朝ごはんを食べている」が7割近く、「毎年健康診断を受けている」が6割近く

問22 保健と医療などについて、あなた自身にあてはまるものをすべてお答えください。

(はあてはまるものすべて)

図5-1-1 保健と医療について - 過年度比較



(注) 平成23年調査から、「食品などの保管方法や調理前の手洗い・きれいな調理器具を使うなど、食中毒予防のための注意をしている」と「食品の表示(添加物、消費期限など)を見て購入している」が選択肢に追加されている。平成24年調査から、「毎日朝ごはんを食べている」と「主食、主菜、副菜をそろえて食べるように心がけている」と「自分は健康だと思う」と「がん検診を定期的に受けている」が選択肢に追加されている

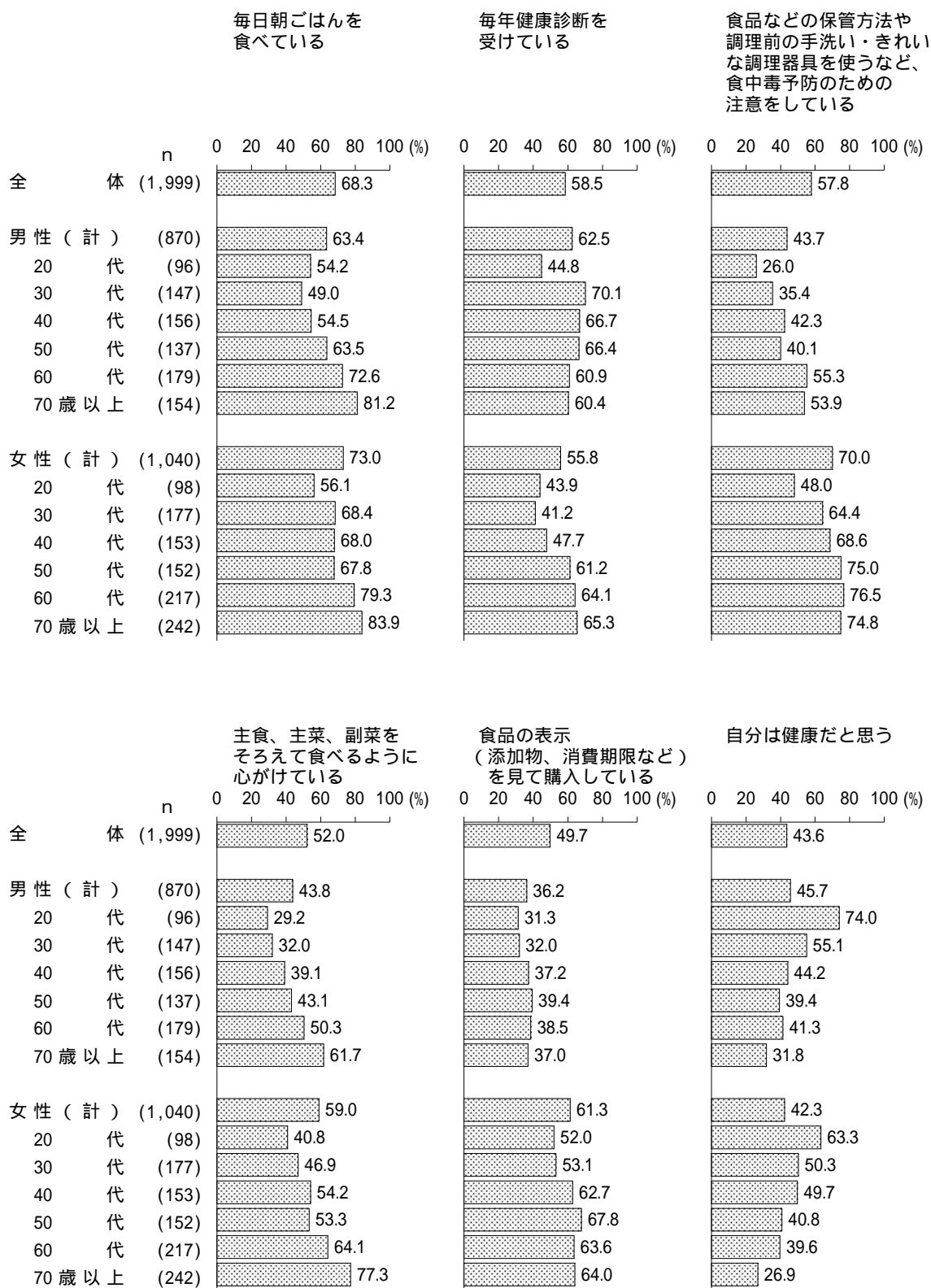
保健と医療などについて、あてはまるものを聞いたところ、「毎日朝ごはんを食べている」(68.3%)が7割近くで最も高く、次いで「毎年健康診断を受けている」(58.5%)、「食品などの保管方法や調理前の手洗い・きれいな調理器具を使うなど、食中毒予防のための注意をしている」(57.8%)、「主食、主菜、副菜をそろえて食べるように心がけている」(52.0%)、「食品の表示(添加物、消費期限など)を見て購入している」(49.7%)の順となっている。

過去の調査と比較すると、「現在、喫煙習慣がある」と「疲れているのに寝付けない、途中で目が覚める、朝早く起きてしまうことが2週間以上続くことがある」と「健康づくり、子どもの健康、感染症、医療機関などの情報が区から提供されており、利用しやすいと感じる」は平成22年調査以降微増傾向にある。また、「安心して受診できる医療機関が身近にある」は平成23年より3.6ポイント減少している。(図5-1-1)

性別で見ると、女性で「食品などの保管方法や調理前の手洗い・きれいな調理器具を使うなど、食中毒予防のための注意をしている」(70.0%)が男性(43.7%)より26.3ポイント高く、「食品の表示(添加物、消費期限など)を見て購入している」(61.3%)が男性(36.2%)より25.1ポイント高くなっている。一方、男性で「毎年健康診断を受けている」(62.5%)が女性(55.8%)より6.7ポイント高く、「自分は健康だと思う」(45.7%)が女性(42.3%)より3.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「毎日朝ごはんを食べている」は男女とも70歳以上(女性83.9%・男性81.2%)で8割を超え、「食品などの保管方法や調理前の手洗い・きれいな調理器具を使うなど、食中毒予防のための注意をしている」は女性の50代以上(50代75.0%・60代76.5%・70歳以上74.8%)で7割台と高くなっている。また、「自分は健康だと思う」は男女ともおおむね低い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、特に20代(男性74.0%・女性63.3%)で6割以上と高くなっている。(図5-1-2)

図5 - 1 - 2 保健と医療について - 性別、性・年代別（上位6位）

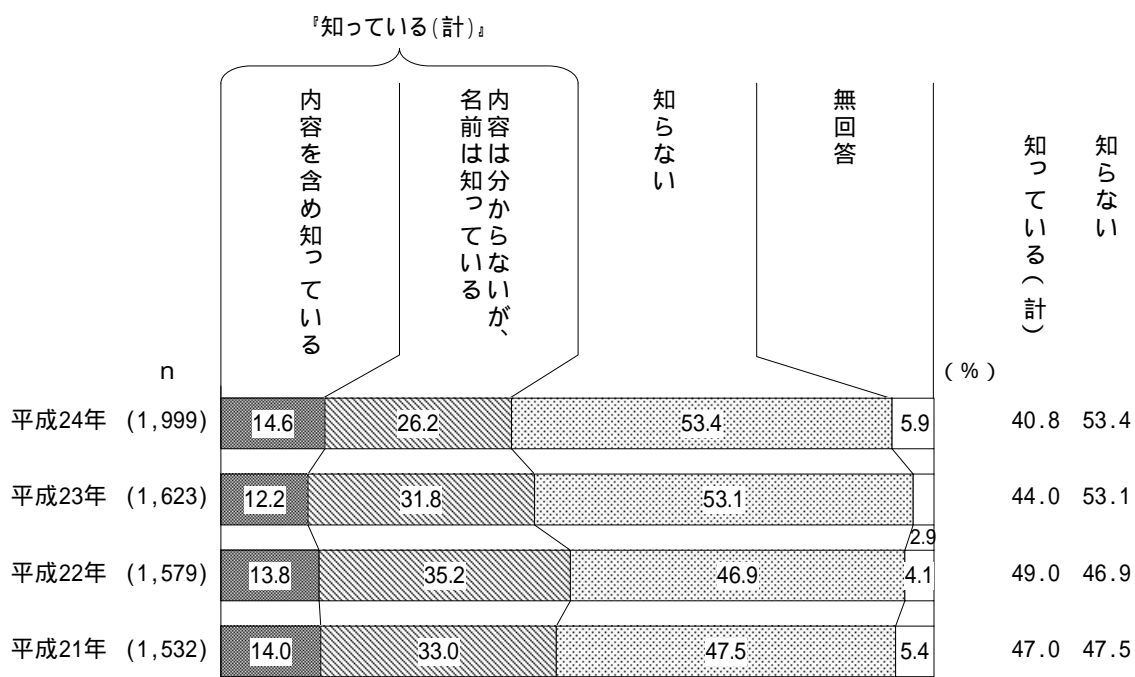


(2) 「成年後見制度」の認知度

『知っている』人が4割

問23 あなたは、高齢者等の権利を守るしくみとして、「成年後見制度」をご存知ですか。
(は1つだけ)

図5 - 2 - 1 「成年後見制度」の認知度 - 過年度比較



高齢者等の権利擁護に係る、「成年後見制度」について知っているか聞いたところ、「内容は分からないが、名前は知っている」(26.2%)が2割半ば、これに「内容を含め知っている」(14.6%)を合わせた『知っている(計)』(40.8%)が4割となっている。一方、「知らない」(53.4%)は5割を超えている。

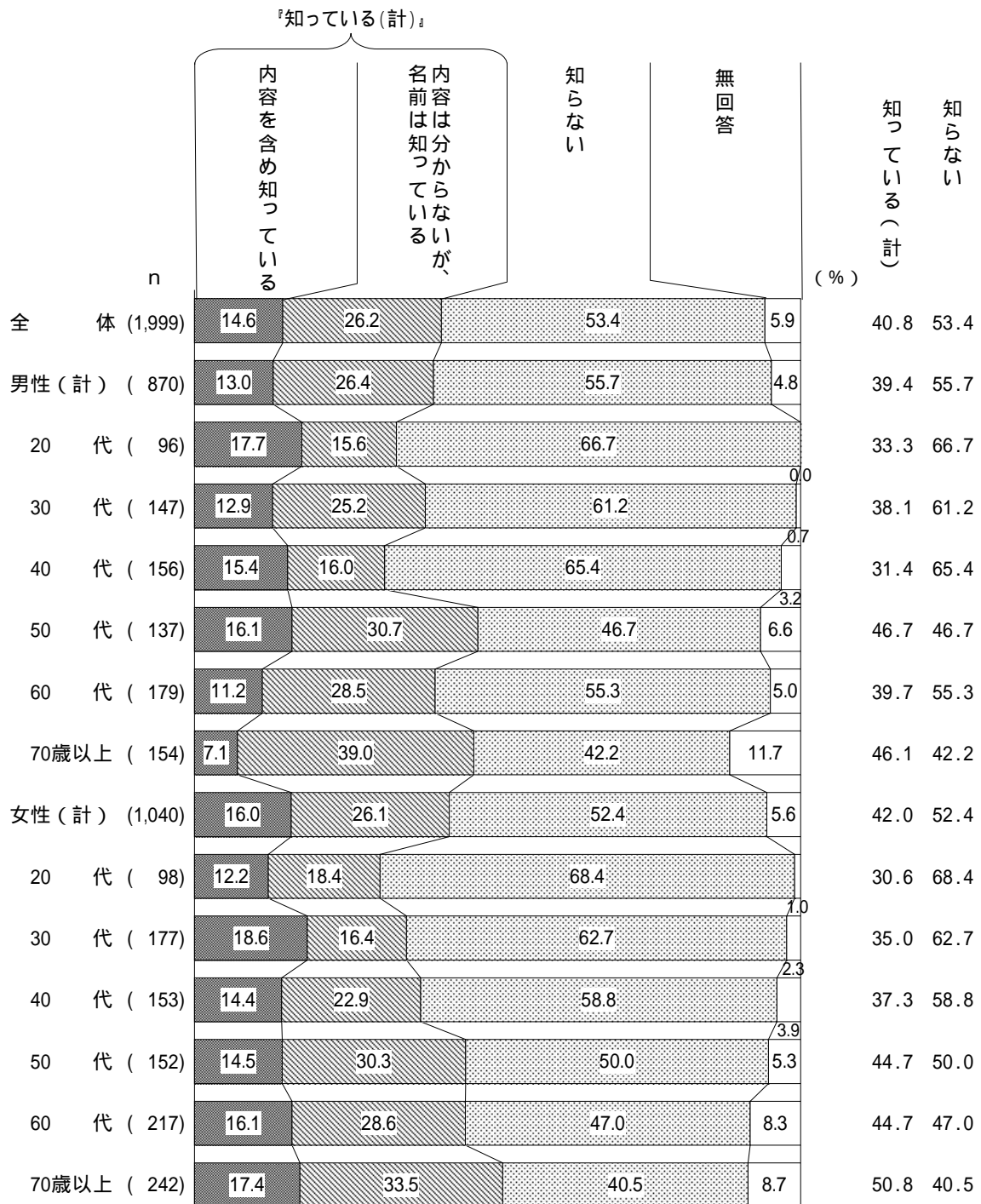
『知っている(計)』は平成23年より3.2ポイント減少している。(図5 - 2 - 1)

性別で見ると、男性で「知らない」(55.7%)が女性(52.4%)より3.3ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『知っている(計)』は女性70歳以上(50.8%)で最も高くなっている。一方、「知らない」は男女とも20代(女性68.4%・男性66.7%)で7割近くと高くなっている。

(図5-2-2)

図5-2-2 「成年後見制度」の認知度 - 性別、性・年代別



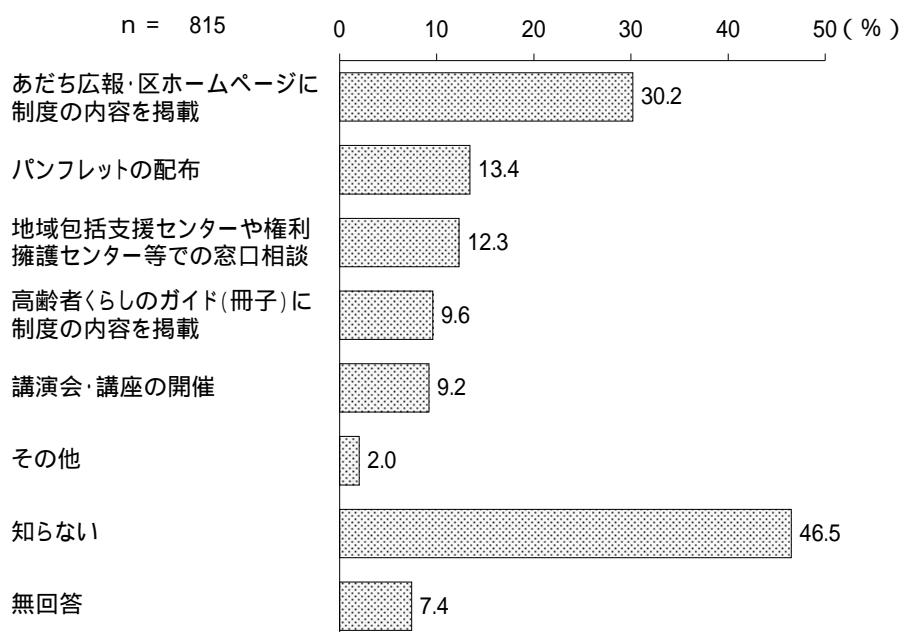
(2 - 1) 「成年後見制度」に関する取組みの認知度

「あだち広報・区ホームページに制度の内容を掲載」が3割で最も高い

(問23で「内容を含め知っている」又は「内容は分からないが、名前は知っている」とお答えの方に)

問23 - 1 区では成年後見制度の周知や利用促進のために、次のような取組みをしていますか。(はあてはまるものすべて)

図5 - 3 - 1 「成年後見制度」に関する取組みの認知度



「成年後見制度」について「内容を含め知っている」又は「内容は分からないが、名前は知っている」人(815人)に、周知や利用促進のための取組みを知っているか聞いたところ、「あだち広報・区ホームページに制度の内容を掲載」(30.2%)が3割で最も高く、次いで「パンフレットの配布」(13.4%)、「地域包括支援センターや権利擁護センター等での窓口相談」(12.3%)、「高齢者くらしのガイド(冊子)に制度の内容を掲載」(9.6%)、「講演会・講座の開催」(9.2%)の順になっている。一方、「知らない」(46.5%)は4割半ばとなっている。(図5 - 3 - 1)

性別で見ると、男性で「知らない」(53.6%)が女性(42.1%)より11.5ポイント高くなっている。一方、女性で「地域包括支援センターや権利擁護センター等での窓口相談」(16.0%)が男性(7.6%)より8.4ポイント高く、「講演会・講座の開催」(12.6%)が男性(5.0%)より7.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「あだち広報・区ホームページに制度の内容を掲載」は女性70歳以上(44.7%)で4割半ば、「高齢者くらしのガイド(冊子)に制度の内容を掲載」は女性60代(19.6%)・70歳以上(19.5%)で2割近くと高くなっている。一方、「知らない」は男女とも20代(女性83.3%・男性78.1%)と女性40代(70.2%)で7割以上と高くなっている。(図5-3-2)

図5-3-2 「成年後見制度」に関する取組みの認知度 - 性別、性・年代別

